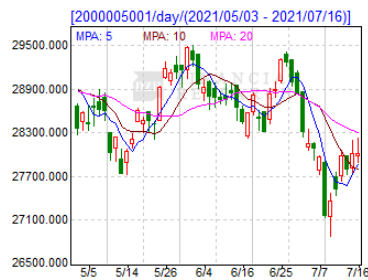




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,687.85	-299.17	-0.86	-0.52	13.33	30,606.48
NASDAQ	14,427.24	-115.89	-0.80	-1.87	11.94	12,888.28
日経225	28,003.08	-276.01	-0.98	0.22	2.04	27,444.17
上海総合	3,539.30	-25.29	-0.71	0.43	1.91	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,094.77	-56.69	-1.10	0.50	-2.24	5,211.29
ハンセン	28,004.68	8.41	0.03	2.41	2.84	27,231.13
中国企業	10,152.95	-21.32	-0.21	2.71	-5.45	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.4%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は0.4%高

香港市場ではハンセン指数が週間で2.4%高と3週ぶりに反発。総じて買い優勢の展開が続いた。中国人民銀行による預金準備率の引き下げ発表が好感されて週明けは上昇してスタート。中国の4-6月期GDPなどの発表を前に週前半は上値の重い場面もあったが、中国の経済指標が総じて強い内容だったことから週後半は続伸し、ハンセン指数は16日に終値で28000ポイント台に乗せて終えた。本土市場では上海総合指数が週間で0.4%高と続伸。預金準備率の引き下げ発表や強い経済指標を受けて堅調な展開となった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、中国政府による統制強化が重しに

香港市場は上値の重い展開か。先週発表された中国の経済指標はおおむね強い内容だったが、ハンセン指数は節目の28000ポイントを回復した後だけに利益確定売りも出やすい。世界的に新型コロナの感染者が再び増加傾向にあることに加え、中国政府がネット企業への統制を強化していることも引き続き警戒されそうだ。FOMCを翌週に控えて週末にかけては様子見姿勢が強まることも考えられる。一方、本土市場はコロナ禍からの回復を受けて企業の強い業績見通しの発表が続いており、堅調な展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 石業集団 (01093)	10.90	7.28
2 アリババ集団 (09988)	209.40	7.11
3 香港証券取引所 (00388)	524.00	6.94
4 小米集団 (01810)	28.25	5.81
5 テンセント (00700)	564.00	4.74
6 美团 (03690)	290.80	4.15
7 薬明生物技術 (02269)	139.90	4.09
8 バドワイザーAPAC (01876)	24.50	3.81
9 中国海外発展 (00688)	18.38	3.72
10 華潤置地 (01109)	31.80	3.25

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 申洲国際集団 (02313)	166.60	-8.26
2 恒安国際集団 (01044)	48.70	-6.44
3 CNOOC (00883)	8.12	-3.45
4 ヘトロファイナ (00857)	3.37	-3.44
5 瑞声科技 (02018)	51.85	-2.54
6 舜宇光学科技 (02382)	226.00	-1.82
7 BYD (01211)	212.40	-1.76
8 信義光能 (00968)	15.32	-1.67
9 銀河娛樂 (00027)	58.70	-1.51
10 中国蒙牛乳業 (02319)	43.95	-1.35

▼今週の主なイベント

- 7月20日(火)
- 【中国】最優遇貸出金利(7月)
- 【香港】失業率(4-6月)
- 7月23日(金)
- 【中国】共産党創設100周年

▼今週の期待材料

- ◆先週発表の中国の主要経済指標は軒並み強い内容、小売売上高や鉱工業生産などが市場予想を上回る
- ◆23日に中国共産党創設100周年、東京五輪の開幕も重なりご祝儀相場になる可能性も
- ◆上場企業の6月中間決算見通しの発表相次ぐ、昨年のコロナ禍の反動で大幅増益の発表が続く公算

▼今週の懸念

- ◆米バイデン政権が香港で事業展開する米企業にリスク警告、国家安全維持法によってリスクが増大
- ◆中国政府によるネット企業への統制強化に警戒感、16日に規制当局が滴滴車行への立ち入り調査を実施
- ◆世界的に新型コロナの新規感染が再び増加傾向、変異株の流行で景気回復の遅れが警戒される可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ キャセイ・パシフィック (00293) : 6月の旅客数が50%増加、貨物輸送量は17%増
- ☆ 上海実業 (00363) : 21年6月中間決算はコロナ禍の反動で95-110%の増益見通し
- ☆ ジョルダノ (00709) : 21年6月中間決算はコロナ禍からの回復で黒字転換の見通し
- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : 21年6月中間決算は26-28%の増益見通し
- ☆ スカイワース (00751) : 傘下の創維電気、深セン「創業板」への分離上場を計画
- ☆ 中国神華能源 (01088) : 6月の石炭販売量が8%増加、発電量は6.5%増
- ☆ 小米集団 (01810) : カナリス調査の4-6月スマホ出荷台数シェアで世界2位に浮上
- ☆ IMAXチャイナ (01970) : 21年6月中間決算は映画館の営業再開で黒字転換の見通し
- ★ Qテクノロジー (01478) : 21年のカメラモジュール出荷目標を下方修正
- ★ 中国民生銀行 (01988) : 中国当局が内部統制などの違反を指摘、1.1億元の罰金処分

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。